

(仮称)豊岡町複合施設再編整備事業 基本構想(素案)策定に向けた考え方(1/2)

1 事業の目的

豊岡小学校は、大正時代に現在の場所に設置され、地域に根差した愛着のある施設です。老朽化に伴う小学校の建替えにより、教育環境の向上を図るとともに、子どもから高齢者まで、安心して魅力的な過ごし方ができる場所となること、生涯学習や地域活動を行う場となることなどを旨とし、豊岡小学校の周辺で小学校と親和性があり老朽化が進む鶴見図書館、鶴見保育園、つるみ区民活動センターも併せて再編整備することを検討しています。

この場所は、鶴見駅や商店街に近接する利便性の高い場所であり、民間事業者のアイデアやノウハウを活用することで、将来にわたり地域の活力向上や賑わいの形成にも効果が期待できます。

各公共施設の機能を高め、必要かつ効率的な整備運営を進めつつ、単館整備では成しえない相乗効果や新たな価値を創出し、地域の活性化や魅力向上を図ります。

2 複合化を検討する施設、規模

複合化検討の対象となる公共施設等の概要は、次のとおりです。再編整備に合わせて、現在の基準に合った設備や必要となる機能を確保すると、再編整備後の床面積は次のようになります。

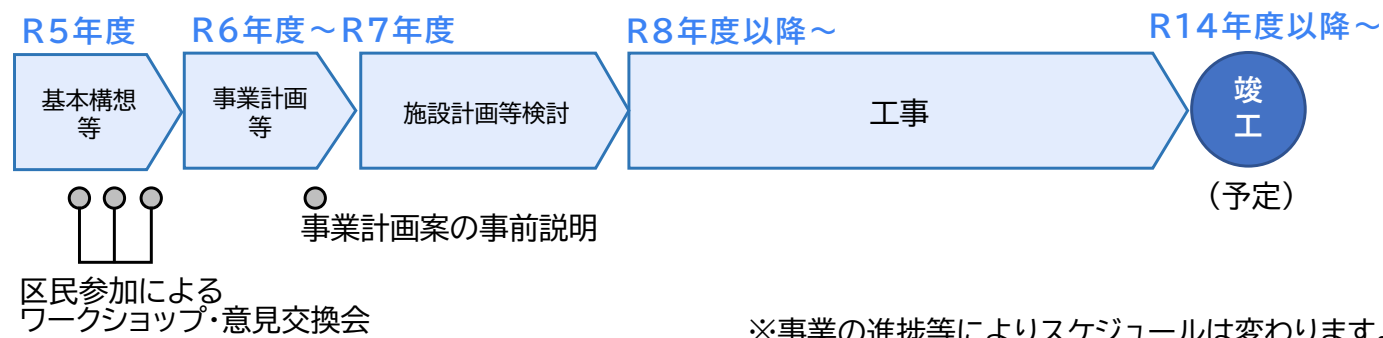
施設・機能	豊岡小学校	放課後キッズクラブ	日本語教室	鶴見図書館	鶴見保育園	つるみ区民活動センター(区役所2階)
現延床面積	約6,300㎡	約100㎡	約100㎡	約1,510㎡	約620㎡	約300㎡
築年数	築59年(最古の棟)	築65年		築42年		設置H19.3(築36年)

整備後延床面積	民間機能
約8,000㎡ (放課後キッズクラブ、日本語教室を含む面積)	未定※1
約1,000㎡	未定※2
約300㎡	

※1 横浜市図書館ビジョン(仮称)策定に合わせて検討
 ※2 複合施設のコンセプト(「4」を参照)に合致し、相乗効果のある民間施設との複合化も検討していきます。

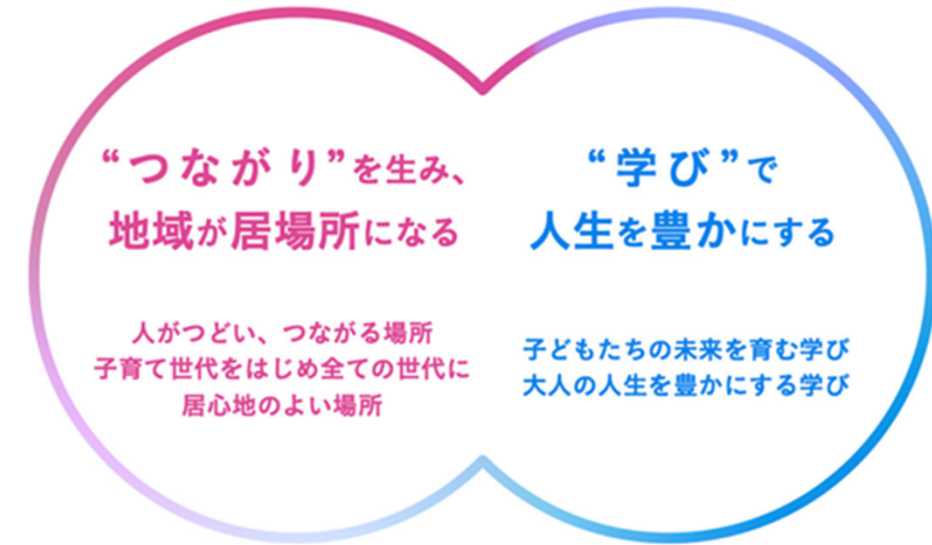
3 整備スケジュール

想定される事業スケジュールは次のとおりです。工事期間は6年程度とし、建物配置等により前後すると想定しますが、可能な限り短縮できる手法を検討します。



4 複合施設のコンセプト(目指す姿)

『 つながる学び舎 』



①子育て生活に彩りをそえる

- ・人のつながりによる、地域での子育ての安心感、身近な子育て支援等
- ・多様な主体(学校、図書館、保育所、つるみ区民活動センター、地域、民間、NPO等)の連携による、子どもの豊かな学び・体験の創出
- ・次世代に求められる豊かな能力の育成
- ・子どもや子育て世代が安心して充実した時間を過ごせる居場所づくり

②多世代が楽しく、学び、活動し、つながり、賑わう

- ・気軽に立ち寄り、居心地よく過ごせる場づくり
- ・人や活動が自然とつながる運営や空間づくりの工夫
- ・民間機能と連携した運営の工夫による活力や賑わいの促進
- ・あらゆる世代が生き生きと学び、活動できる場づくり

③地域の思いを新しいコミュニティの形に

- ・多様な主体の連携、多世代交流、多文化共生による、コミュニティの創出
- ・地域住民等が活躍できる機会づくり
- ・地域活動、コミュニティビジネス等の活性化サポート



親子の居場所



人や活動がつながる
(高円寺アパートメント/株式会社まめくらし)



多文化共生

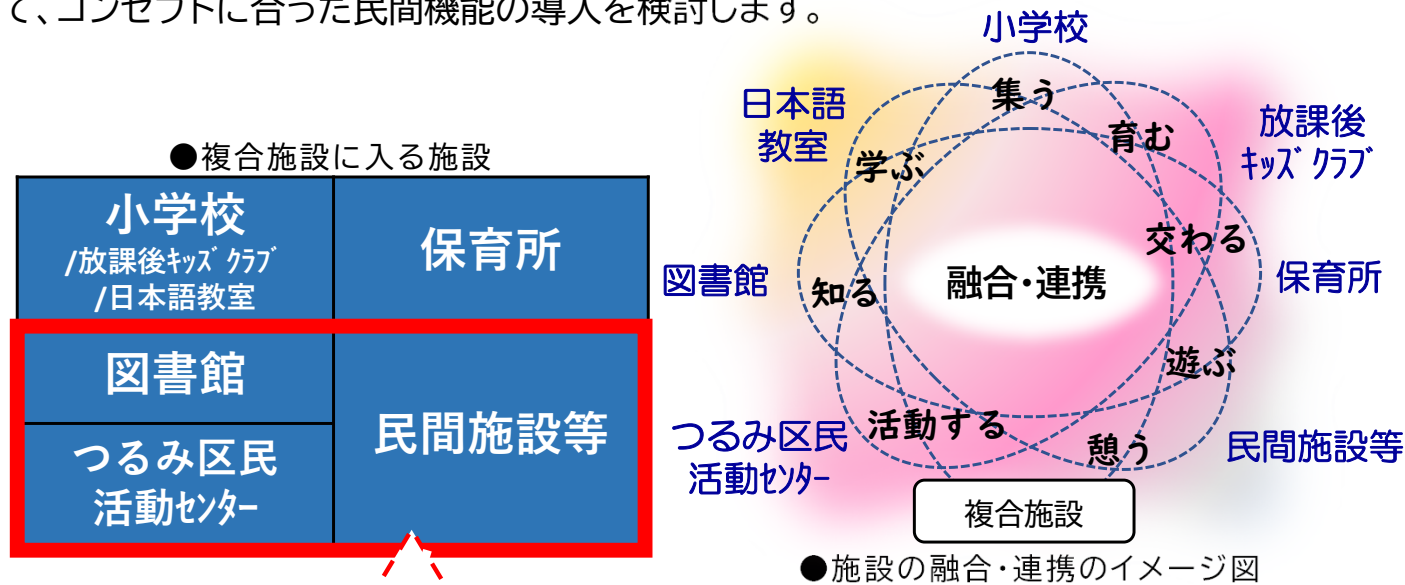
(仮称)豊岡町複合施設再編整備事業 基本構想(素案)策定に向けた考え方(2/2)

5 機能の考え方

○機能の融合・連携

各公共施設の機能のうち、新たな出会いや活動の創造が期待できるものをつなぐ、又は拡大させることによって、新たなプログラムやイベントを展開します。

また、さらに充実したサービスの提供や、各公共施設等のサービスとの相乗効果を期待して、コンセプトに合った民間機能の導入を検討します。



活動内容	機能等イメージ	施設の一例※1
憩う・集う	気軽に入れ、落ち着いて居心地よく過ごせる空間	ラウンジ、カフェ 情報コーナー
交わる・活動する (地域活動・生涯学習)	多世代交流・多文化共生、賑わい活動が見えやすく、つながるきっかけづくり	ギャラリー、多目的スペース コワーキング(働くための共同スペース)
学ぶ・交わる (小学生・中高生)	新たな発見や満足感を得られる創造性を刺激する学びやものづくり体験	ラーニングコモンズ※2、 STEAMラボ※3、知育系施設
遊ぶ・過ごす (小学生・中高生)	子どもが楽しく保護者が安心できる、子どもの居場所	プレイスペース、学習スペース
遊ぶ・交わる (親子・乳幼児)	元気に過ごせ、好奇心をそそる保護者がくつろぎ、交流する場	親子フリースペース 託児、子育て相談
知る・深める	学びの活動や課題解決を支える拠点	読書、学習、仕事スペース 情報支援、ICT
健康増進	スポーツを通じたの憩い・交流	スポーツジム、プール

※1:民間事業者からのご意見や提案内容にもよりますので、これで確定したものではありません。

※2:複数の学生が集まって、電子情報も印刷物も含めた様々な情報資源から得られる情報を用いて議論を進めていく学習スタイルを可能にする「場」を提供するもの。

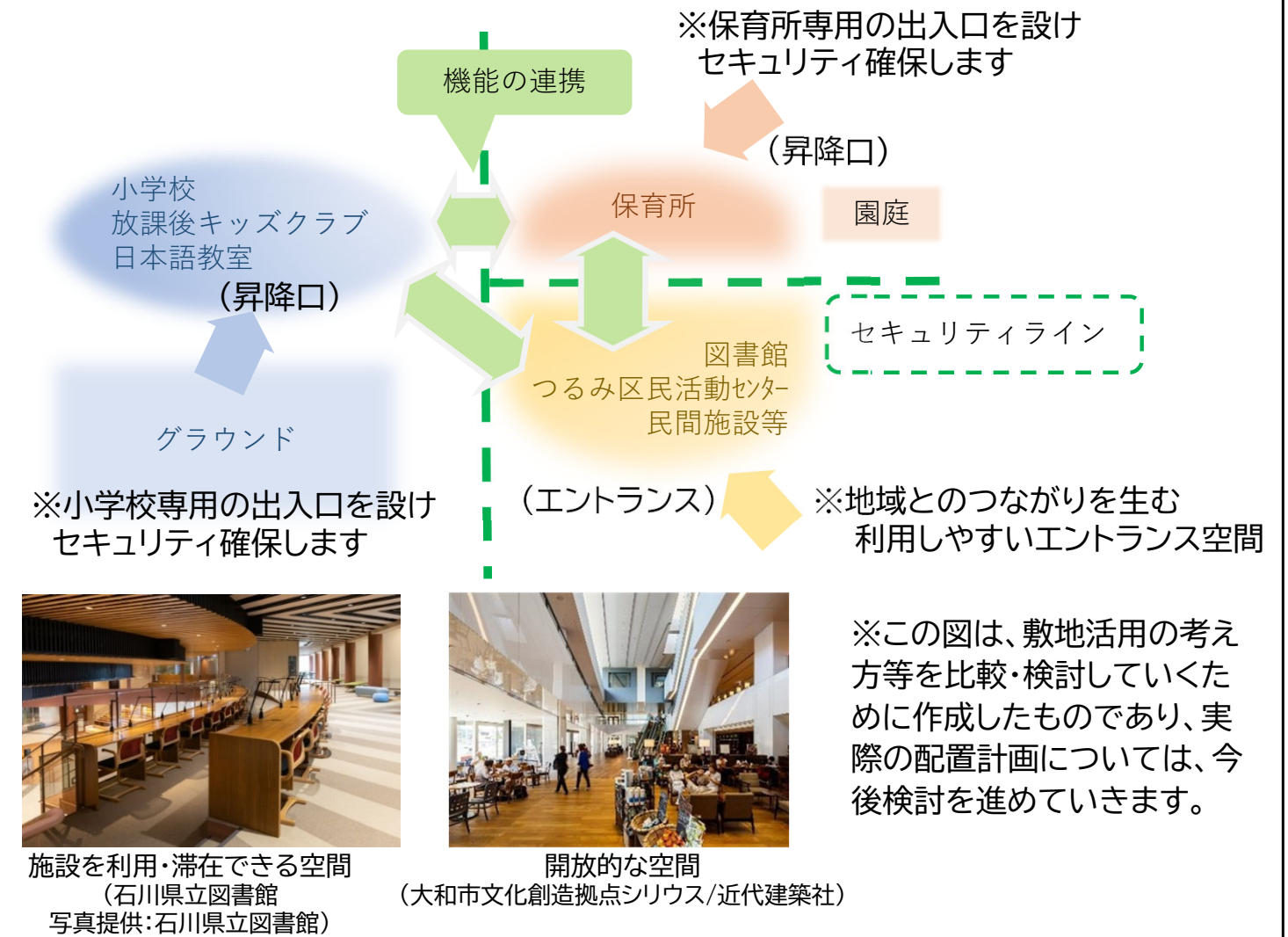
※3:科学、技術、工学、アート、数学を、総合的に応用してものづくりを行うための教室や研究室など。



STEAMラボ
(戸田市立戸田東小学校/戸田市教育委員会)

6 施設整備の基本的な考え方

- ・小学校、保育所は、現在の施設整備基準等に基づき、必要な広さ(教室、グラウンド、保育室等)や機能(体育館空調等)を有する施設等を整備します。
- ・小学校・保育所等に必要なセキュリティを確保します。
- ・施設間で共有できる開放的な空間、気軽に施設を利用・滞在できる空間を設けるなど、人や活動への関心が広がり自然とつながりが生まれるような空間づくりの工夫を行います。
- ・建替え中、建替え後も、地域防災拠点としての機能を確保します。
- ・豊岡通り側に賑わいが生まれるように施設配置を検討します。



【参考】令和5年度の予定

- 令和5年 10月 「基本構想(素案)策定に向けた考え方」の公表と意見交換会の実施
- 12月～1月 「基本構想(素案)」の公表、区民意見募集、意見交換会の実施
- 令和6年 2月 「基本構想」の公表

※「基本構想」とは、施設の機能等をまとめ、設計に向けた基本的な考え方を整理したものです。

(仮称)豊岡町複合施設再編整備事業については、ホームページで掲載しています。

【ホームページアドレス】 <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/zaisei/fmsuishin/facility-management/toyooka/>

